



第23回 ボランティア 研修交流会 ～震度7を体験～

第二三回ボランティア研修交流会が十一月二十日に行われました。

参加者総勢三十五名を乗せたバスは朝から小春日の中、小倉を八時半・八幡を九時に予定どおり出発しました。

行程表より三十分早く福岡市民防災センターに到着して、今回はじめて、地震・強風や消火器の取り扱い等、是非、心得ておきたい貴重な体験をしました。特に震度7の揺れには、参加者全員驚いていました。強風は、風速三十メートルを体験しました。消火器を使った消火実験では、消すことが出来ない組もありました。

防災センターを出発後、バス内で山田理事長より「福祉有償運送」についてと題してガイドラインに関するこれまでの流れと来年四月一日から改正される制度について解りやすい研修がありました。(※研修資料はボランティアさんには送付) その中で何点の質問がありました。運営協議会で検討中の問題もあり、明確な解答が出せない質問もありました。

運営協議会としてもはじめての取り組みですので協議を重ねより良い方向へと努力されている様です。早速十二月二十日に

協議会がありますので概要が決まると思われます。決まり次第皆様にはお知らせいたします。

十二時すぎに、原鶴温泉に着しました。参加者は、昼食をとり温泉に入ってゆっくりしていました。

午後三時に原鶴温泉を出発しバスで三十分走った山で柿狩りを楽しみました。

晩秋の朝倉路を抜け、六時に八幡、六時三十分小倉に到着。それぞれお土産を手に解散しました。



事務局よりお知らせ

今年もお世話になりました。来年もよろしく願います。年末年始のお休みは次のとおりです。よいお年をお迎え下さい。

12月29日
▼
1月4日

ボランティア研修交流会 に参加して

小倉北区 高田 雄三

私は、昨年十月より小倉北区でボランティアを行っている高田雄三であります。

一年少々の新米でありますので、どうぞ宜しくお願いいたします。さて、十一月二十日行われました第二十三回ボランティア研修交流会に参加いたしました。

今回の交流会のテーマは二つあったと思います。第一は、防災体験学習会です。四つの体験(風速・震度・消火・避難)をいたしました。どれも貴重な体験でしたが、どれも貴重な体験でしたが、震度五と震度七の体験をしました。体験とわかっていてもパニックになってどう対処していかかわりませんでした。実際に震度七クラスの地震が来たら想像したら背筋が凍る思いがした次第であります。

第二は、福祉有償運送についてであります。これは山田理事長の説明で過去・現在・将来についての

お話がありました。来年早々に国土交通省より許可が下り、四月一日より福祉有償運送が出来るとのことでした。



事の成り行きを見守っていきたいと思います。

いずれにいたしましても、今回のボランティア研修交流会は良い体験ができましたし、大変有意義であったと思います。この交流会を企画されました山田理事長はじめ「さわやかレディーズ」の皆様には大変感謝申し上げます。ありがとうございました。

福岡・原鶴 体験研修旅行記

八幡西区 勝原 祥蔵

十一月二十日、秋晴れのもと「さわやか」研修旅行が行われました。

今年も人数も、例年に比べ少し少なかった。車中、山田理事長の挨拶があり、クイズ等しながら、百道浜の福岡市民防災センターへ。

女性の係員よりセンターの説明があり、地震、台風の体験、消火器による消火作業等の実施、私達の班だけ消火に失敗してしまふ不始末を行った。その後、原鶴温泉へ。

バスの中で、理事長より、福祉有償運送について改正される点、今後の取り組み等について詳しく説明があった。

(裏面につづく)

原鶴温泉では、昼食をとり、風呂に入り、柿狩りをして、無事に帰途についた。

朝早くから、日の暮れまで、長い一日ではあったが皆和気あいあいと楽しい一日を過ごすことができて大変良かったです。

又、世話や計画してくれた「さわやか」レディースの皆様の行き届いた行動に感謝します。ありがとうございました。

ボランテニア研修交流会 に参加して

八幡クリニック 加藤 東樹

朝起きてカーテン開け空を見ると、良い天気である。今日の研修交流会は楽しく過ごせる予感がする。集合時間が気になる、かみさんが「お父さん！何をそわそわしているの、まだ時間は十分ありますよ」と言われながら一時間早く家を出、八幡駅前に着くと、やはり一番乗り（早すぎたなく）バスは多少遅れて到着、素晴らしい良いバスだ。

早速乗車、一番後ろの窓際にと席を見たら先客あり 残念！一番後ろの真ん中に陣取る。バス運転手の紹介、新理事長、事務局の挨拶も終わり、車中のクイズ「百道ランプを降りて一番目の交差点通過時点の時間は？」とのこと、夢中で考えていたら

九時二十分に古賀パーキングエリアに着く、凄く早かった様に感じた。九時三十四分パーキングを出発後クイズの通過時間の答えを提出、車の流れは非常にスムーズと判断し「九時五十四分」とした。運転手さんに「スピード上げる！」「パトカーが来たからスピード落とせ！」とか勝手な野次を飛ばしているうちに九時五十四分百道交差点通過となり、ピタリ賞獲得。やはり今日の予感的中。

福岡市民防災センターでのガイダンスシアター（大画面での防災について、過去の災害映像を写し防災について解りやすく説明）地震体験、強風体験（風速三十メートル）、消火訓練、火災体験などを実際に体験して、震度七の地震では、動く事ができないうことが良くわかった。しかし、非難しなければならぬので、四つんばいになり、はつて移動すれば何とかなるのではないかと後で気がつきました。

センターを後に、バス内で新理事長の、「福祉有償運送」について説明があり、人を有償で運送するには、二種免許と青ナンバー車が必要。「さわやか」での普通免許に白ナンバーでは、通称白タク法律違反である。そこで、今回の、国土交通省によ

るガイドラインの通達により使用する車の保険証、申請書、業務計画書、他、十数種類の書類を運営協議会に提出しなければならぬとの事。ボランテニア自身も運転者講習を受講する事により、許可を受け堂々と送迎ができるので良いのではないかなと思う。

さて、バスは原鶴温泉に到着ホテルでの昼食会、各ボランテニアさんのお話し、久しぶりの温泉につかり、リラククス、ストレス解消をした。柿狩りをする柿園は、山の中腹にあり、狭い、ヘヤーピンカーブを幾つも通る、大型バスを気持ち良く操る運転手。上手だなーと感心する。

柿園は、山の斜面地を段々畑に整地された所に植えてあった。手の届く所には、あまり良い柿がなく、木に登り色の良い熟れた柿を取って見れば、カラスの奴が突ついていた傷物。捨てるのは勿体無いので傷のない方食べたが、鳥インフルエンザにかからないか心配だ。

帰りの高速道路は、紅葉の時期でもあり、日曜と重なり、車が多く、スピードも上がらない。退屈しない様にと、柿のお話やクイズと行き、帰りの気の使いように感謝する。

今回のボランテニア研修交流会は、大変素晴らしい、意義のある体験をさせて頂きました。今後の災害に対して冷静に対処出来そうです。この研修交流会を計画されたスタッフの方々に熱くお礼を申し上げます。



初めての研修会の講師を終え、ホッと・・・『いただきま〜す』

研修交流会 アルバム



熟年の“こい”は燃え上がり消火器でも消せなかった・・・消火に失敗・・・



ここまで元気になりましたリハビリ続行中！



マイペースな熟年夫婦



フービー賞は



今宵のおともだ・き・ま・く・ら



時間当てクイズ 《あなたが一番！》

